

技術情報

長崎県病害虫防除所長

平成26年度病害虫発生予察技術情報第1号

ヒメトビウンカ（越冬世代）の生息量及び イネ縞葉枯ウイルスの保毒状況について

平成26年3月に行った調査の結果、下記のとおりヒメトビウンカ（越冬世代）の生息量は平年並、イネ縞葉枯ウイルスの保毒率は低い状況であり、今後のヒメトビウンカの発生は平年並、縞葉枯病の発生は少であると予想されますが、今後の飛来状況に注意し、防除対策を行うことが大切です。

記

1. ヒメトビウンカの生息量及びイネ縞葉枯ウイルスの保毒状況

- (1) 平成26年3月11日～24日にかけて、県内24地点の水田（1地点あたり概ね5圃場）においてヒメトビウンカの生息量調査（吹き出し法）を行った結果、10m²あたりの虫数は6.2頭（平年 9.8頭）であった（図、表）
- (2) 上記調査時に採集したヒメトビウンカについてイネ縞葉枯ウイルスの保毒状況調査（ラテックス凝集反応法）を行った結果、保毒虫率は0.8%（平年 2.9%）であった。

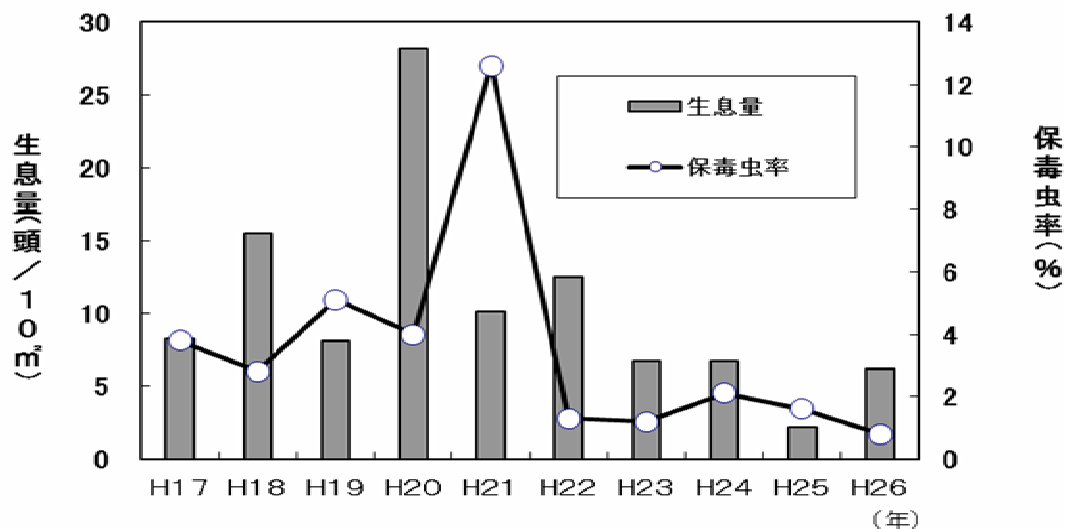


図 ヒメトビウンカ(越冬世代)の生息量及び
イネ縞葉枯ウイルス保毒虫率の推移

表 各地点におけるヒメトビウンカ（越冬世代）の生息量及びイネ縞葉枯ウイルスの保毒虫率

| 調 査 地 点 | 生息量 (頭/10m ²) | 検 定 虫 数 | 保毒虫率 (%) |
|-----------|------------------------------|---------|-------------|
| 長崎市手熊 | 9.1 | 100 | 0 |
| 琴海戸根 | 7.2 | 146 | 2.1 |
| 外海町神ノ浦 | 7.2 | 100 | 0 |
| 西海市大瀬戸町 | 3.7 | 100 | 0 |
| 諫早市多良見町 | 22.4 | 150 | 2.0 |
| 諫早市小船越 | 23.7 | 150 | 0.7 |
| 諫早市小野 | 8.0 | 150 | 0 |
| 諫早市森山 | 3.0 | 150 | 0.7 |
| 雲仙市国見町 | 5.8 | 89 | 1.1 |
| 雲仙市吾妻町 | 9.9 | 100 | 0 |
| 大村市鈴田 | 62.7 | 150 | 1.3 |
| 東彼杵町三根 | 16.7 | 150 | 0 |
| 佐世保市長畑 | 17.2 | 150 | 1.3 |
| 佐世保市針尾 | 7.3 | 100 | 0 |
| 松浦市志佐 | 1.8 | 100 | 0 |
| 平戸市紐差 | 1.2 | 64 | 0 |
| 五島市山端 | 1.2 | 59 | 0 |
| 玉之浦中須 | 0.4 | 17 | - |
| 壱岐市勝本町 | 2.9 | 85 | 1.2 |
| 壱岐市石田町 | 1.2 | 48 | 2.1 |
| 壱岐市芦辺 | 1.4 | 67 | 0 |
| 壱岐市郷ノ浦町柳田 | 0.8 | 45 | 0 |
| 対馬市巖原町豆酛 | 6.8 | 100 | 4.0 |
| 対馬市豊玉町 | 1.2 | 20 | - |
| 県 全 体 | 6.2 | 2,390 | 0.8 |
| 平 年 値 | 9.8 | - | 2.9 |

* 保毒虫率については、30頭以上捕獲した調査地点のみ算出

2. 防除対策について

- (1) 水稻移植時はウンカ類に効果のある箱施薬剤を施用する。
- (2) 普通期水稻作付け圃場では、第1世代幼虫のふ化期にあたる4月下旬～5月上旬までに耕起し、ヒメトビウンカの密度低減を図る。
- (3) 育苗圃へのヒメトビウンカの飛び込みを防ぐため、イネ科雑草地や麦類圃場付近での育苗を避ける。
- (4) 窒素過多は縞葉枯病の発生を助長するので適正な肥培管理に努める。

病虫害防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。

長崎県病虫害防除所 TEL：0957-26-0027